

ほん
こども版

まなびやまと

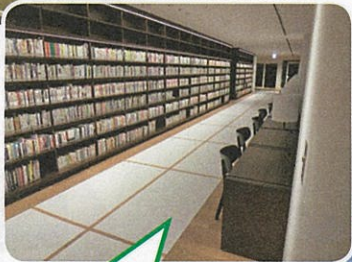


大和市
イベントキャラクター
ヤマトン

図書館では、映像(DVD)を貸し出して、見る場所も用意してあります。

遊ぶが置いてある「こども広場」もあります。

※こども広場は小学校2年生まで使えます。



1階から5階まで、本がたくさん置いてあります。

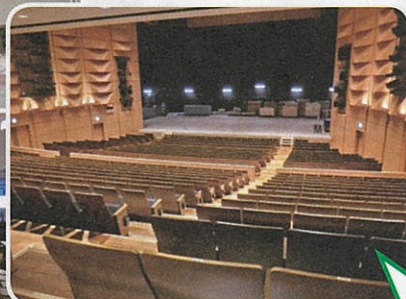
1階から3階は吹き抜けになっていて開放感があります。ゆったり座れるイスもあって、読書がすすみそうです。

6階にはたくさんの部屋があり、イベントや教室に使われます。また、くつろぎのスペースもあって、外の景色を見ながらお弁当を食べることもできます。



1階にはカフェもあり、本を持ち込んで読むこともできます。

大和駅から東側に向かって4分程歩くと見えてくる、白く大きな建物が11月3日にオープンした「文化創造拠点シリウス」です。
この建物の中には、図書館のこどものフロア、芸術文化ホール、生涯学習センター等があります。
※写真は開設準備中のものです。



メインホールは1000席以上の大空間が広がっています。どんな催しが行われるのか、とっても楽しみです。

行ってみよう、見てこよう

この本、オススメです

「世界一素朴な質問、宇宙一美しい答え」

ジエンマ・エルウィン・ハリス 編

西田美緒子 訳

河出書房新社 2013

「風はどこからふいてくるの?」「海の水はどうしてしょっぱいの?」など、ふと思った疑問100個に科学者や作家、アーティストが回答してくれます。科学的なこと以外にも「どうして意地悪なんかな?」「どうして音楽があるの?」など、人の心や文化についての質問もあるので、気になる質問を見つけて読んでみるとよいでしょう。回答文は、わかりやすく、やさしい言葉を使って2〜3ページにまとめてあるので、小学生でも読みやすくなっています。自分で答えを見つけている人も、読んでみるときっと新しい発見があることまちがいなしです。



「こども版 まなびやまと」

発行にあたって

大和市教育委員会教育長 柿本隆夫
小学校・中学校でのこどもたちの取り組みや市内の出来事など、楽しい記事をたくさんお届けします。望遠鏡で遠くをのぞいてみるつもりで、お友だちと一緒に読んでみてください。

特集 アイシーデー ICT機器をつかった楽しい学習

大和市内の小学校と中学校には、タブレットPCと電子黒板があり、授業で使っています。また、その画像を電子黒板に映し出すことができます。授業の中で、これらの機器はどのように使われているのか紹介します。みなさんの学校ではどんな使い方をしていますか？



写真や動画は繰り返し見ることができ、順序や方法を確認することができます。

み見る



自分たちの運動の様子をみんなで見て確認できます。

と撮る

歌う様子を撮影し、上達の様子を記録することができます。



タブレットPCを使ってみよう



並べた図形を撮影しておく、違う並べ方を試してみることも、友だちの並べ方と比べることもできます。



※ICTとは、Information and Communication Technology に日本語で表すと、「情報通信技術」のこと。情報を伝えるための道具をICT機器と呼び、スマートフォンや携帯電話も含まれます。



中央林間小学校
「力を合わせて2学年合同種目」
中央林間小学校では、2学年合同の競技が行われます。1・2年生が大玉ころがしにチャレンジしました。1年生だけでは難しい大玉のコントロールも、2年生がいれば安心です。

「みんなにっこり幼稚園の子と一緒に」
渋谷中学校では、近くにある、あけぼの幼稚園の子どもと一緒に競技をします。フラフープの電車やおんぶで走るなど、みんなが笑顔になる種目です。



「まるでオリンピック！」
聖火台へ点火！
渋谷中学校の開会式では聖火を持った生徒が入場し、聖火台へ点火をします。これから運動会が始まるぞという気持ちになりますね。

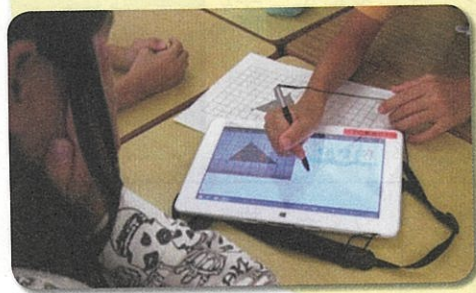
「春の運動会」
大和市内では、北大和小学校、中央林間小学校、上和田中学校、渋谷中学校が春に運動会を行います。その中から2校の演出や種目を紹介します。

みんな運動会やっまいます

がぞう 画像にメモを書き込み、自分の
かんが 考えをまとめることができます。パ
ソコンの画面を電子黒板に映し出
すと、発表するときにも便利です。
タッチペンを使って、物の形を
うつか 写し書くこともできます。



か書く



き聞く

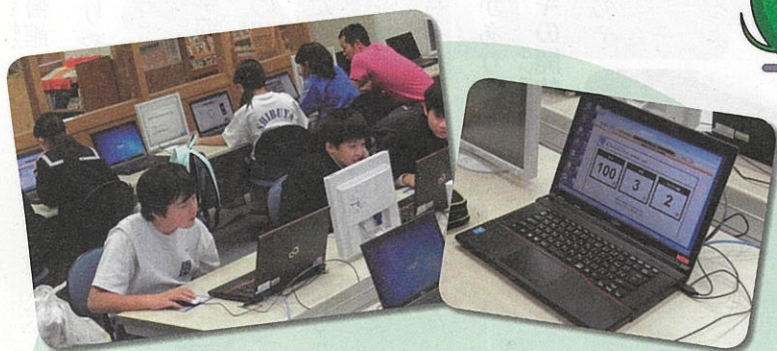


こくご 国語の授業でのスピーチの様子は、
イヤホンを使って聞くことができま
す。話すスピードや聞き取りやすさを
チェックすることもできます。



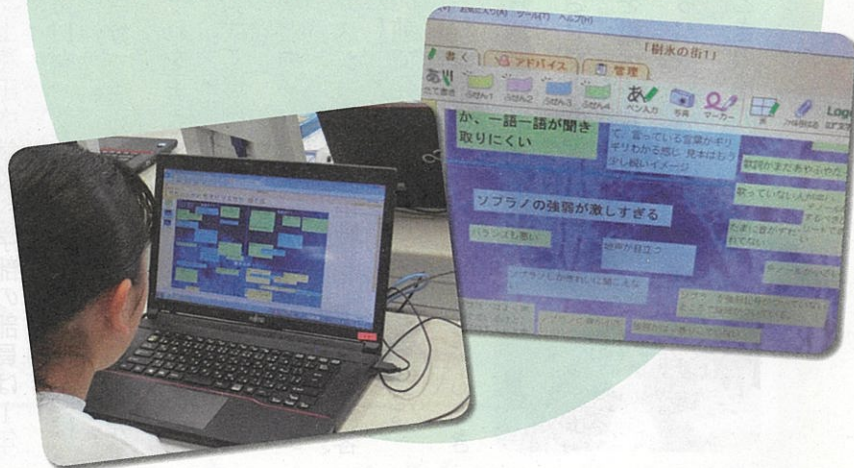
いけん だ あ 意見を出し合う

「コラボノート」というソフトウェアを使うと、同時に何
人もの意見をパソコンの画面で見ることができます。意見
のカードを動かすこともできるので、意見の種類ごとにま
とめて、整理することができます。意見交換や、クラスや
グループで何かを決めるときに利用すると便利です。



「eライブラリ」というソフトウェアを使って、学習の予
習・復習を行うことができます。学校のパソコン教室だけ
ではなく、自宅のパソコンでも利用することができるので、
自分で学習を計画して取り組むことができ便利です。
学習の履歴も残るので、自分の学習の成果を振り返るこ
ともできます。

ふ かね 振り返る



もし、こんなことが起きた時にあなたならどんな
行動をとりますか。友だちや先生、家の人と話し
合ってみるとよいですね。

「こんなとき、きみならどうする?」

「学校に不審者が」

休み時間の終わり、みんなが教
室に戻ってきました。席に座って
先生が来るのを待っていると、3
年〇組に不審者が侵入したとい
う放送が流れました。教室の中が
ざわざわし始めましたが、まだ担
任の先生は来ていません。

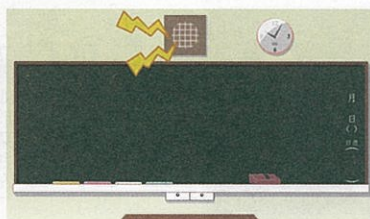
「こんなとき、きみならどうする?」

- ① 何が起きているのか見ため、3年〇組に行く。
- ② 担任の先生を呼ぶため、職員室へ行く。
- ③ とんりのクラスの先生にどうするのか聞きに行く。
- ④ 教室から出ないで、じっと先生が来るのを待つ。
- ⑤ 関係ないので、まわりの友だちとおしゃべりする。
- ⑥ ①～⑤以外のことをする。

ポイント

学校に不審者が入ってきたとき、教室に先生がいる
とはかぎりません。自分の身を守るため、正しい行
動を確認しておきましょう。

※西鶴岡小学校では、9月12日にこのような場合の訓練を全校で取り
組みました。その様子は3月の「まなびやま」で紹介する予定です。



おらが学校

「心のオアシス学校図書館」

光丘中学校

光丘中学校は今年創立57年目、新校舎になって9年目を迎えました。生徒数は879名(5月1日現在)、多くの生徒が本校で学んでいます。新校舎は明るく広々としており、開放感に満ちたとてもすばらしいところです。このすばらしい校舎の図書館の利用者数が伸びないことが悩みでした。

「図書館利用増をめざして」

この状況を変えるために、平成26年度からいろいろな改革を行ってきました。

① パソコン教室と図書館の一体化

以前は両教室の間をパーテーションで区切っていました。取り払うことにより開放感が生まれたと同時に、調べたいことを本とパソコン両方で調べることが可能になりました。

② 展示の工夫

来館した生徒が、「楽しいところだな」「また来たいな」と思ってもらえるように、展示物に様々な工夫を凝らしてみました。



まずは、図書館の入口にウェルカムボードを立て、入りやすい雰囲気を作りました。次に、入ってすぐの所に「展示スペース」を設け、季節感を味わえるような展示物を置き、その周りにお薦めの本を並べてみました。また、立体感を出す工夫をしました。テーマに沿った本を展示したりしました。「映画・ドラマになった本の特集」などはとても人気がありました。

③ ウッドデッキの開放

図書館の前のテラスを開放し、そこで本を読めるようにしました。テラスに置いたパラソルは大好評で、多くの生徒が利用しています。



この他にも、本の並べ方の見直しや図書委員による読み聞かせ、また貸し出しの電算化などを行った結果、来館者がこの2年で3.5倍、貸し出し数は4.6倍に増えました。

「心のオアシス学校図書館を目指して」

今後も心のオアシスとして、また、より学習面で活用ができる学校図書館を目指して、今以上のすばらしい図書館を作っていくたいと思っています。

ジャンボ大根づくり

上和田小学校 4年生



9月29日(木)、上和田小学校の4年生が花壇の一角に大根の種をまきました。来年の春まで大事に育て、「全国ジャンボ大根フェスティバル」の入賞を目指します。送られてきた10数粒の種はグループで一粒一粒大事にまかれました。土をかぶせた後、「大きく育てよ」と、みんなの思いを送りこみました。どのくらい大きく育つか楽しみです。

「全国ジャンボ大根フェスティバル」
3月に広島県で行われ、育てた大根の重さを競います。昨年優勝した大根は34kg以上でした。※一般的な大根の重さは約1kg



部活動紹介

上和田中学校 科学部

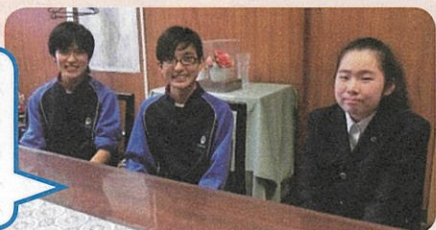
上和田中学校科学部の部員は1年生11名、2年生5名。主な活動は、自分で決めたテーマの調査・研究、それをまとめたものの発表です。発表する場合は文化祭やおもしろ科学館などのイベントです。今年サイエンスショーにも挑戦し、大勢の観客の前で発表することができました。

これから挑戦してみたいことは、科学部主催の発表大会や、表彰を受けられる研究をすることです。発表を見た人が科学に興味をもち、科学や理科を好きになってもらえるような部活動を目指します。

科学部の魅力は、失敗してもあきらめず実験を成功させたときや、発表を見てくれた人たちが喜んでくれたときの達成感です。



写真右から
副部長 (立野如於菜さん)
部長 (石橋龍生さん)
副部長 (石橋龍生さん)
副部長 (石橋龍生さん)



他の中学校にも科学部ができるとうれしいです!

こども版「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一環として、小中学生向け、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。お読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。